2025年度　安全教育実施計画表

月	月別指導テーマ	指導教育の内容
4月	バスを運転する場合の心構え	バス事業は、乗客を安全・確実に輸送することが社会的な使命であり、対人のサービス業でもある。プロの運転者としての意識を持ち乗客の安全を最優先することが重要であることを認識させる
5月	バスの運行の安全・乗客の安全を確保するために遵守すべきこと	道路運送法に基づき運転者が遵守すべき事項及び交通ルール等を理解させるとともに実例を挙げて説明し確認させる
6月	健康管理の重要性	日々の摂生に努め健康を保つことの重要性を理解させる。同時に体調を崩し集中力の低下が危険を招くことを指導する
7月	乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項	アクセル、ブレーキ、ハンドル操作等いずれも急な操作により車内事故を誘発させる要因となることを具体例を示し理解させる
8月	交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法	長時間運転による過労及び飲酒等の生理的要因並びに慣れ及び自分の運転技能への過信による事故を実例で説明。運転中に疲労や眠気を感じた時は個々の判断で休息をとるように指導する
9月	運行路線・経路における道路・交通の状況	安全な運行を行うためには、運行路線・経路の道路及び交通の状況について事前に情報を収集し把握しておくことが重要である
10月	危険の予測及び回避並びに緊急時おける対応方法	急なハンドル、ブレーキ等の操作による危険性、内輪差等構造上の危険性及び死角からの飛び出し事故の実例を挙げ目視できなくても危険性を予知することの注意喚起
11月	乗客が乗降する時の安全を確保するために留意すべき事項	周囲の道路状況及び交通状況に注意して安全な位置に停車させることで旅客の乗降の安全確保できることを理解させる
12月	悪天候・夜間の危険への配慮	悪天候や夜間においては、事故発生リスクが高まることを理解させ、慎重な運転をさせることで事故を回避できることを認識させる
1月	バスの構造上の特性	バスの車高、視野、死角、内輪差及び制動距離等を理解させる。また同時に構造上の特性を把握することの必要性を理解させる
2月	運転者の運転適性に応じた安全運転	適正診断の結果に基づき、個々の運転者に自身の特性を自覚させる。安全運転のために必要な行動をアドバイスする
3月	安全性の向上を図るための装置を備えるバスの適切な運転方法	ドライブレコーダー等を用いた指導・監督（ヒヤリハット等）
		安全運転支援装置教育

会津交通株式会社